

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年 9月29日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年9月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【防護設備の機器取替作業中における脚立を降りる際右手小指負傷について】 防護設備ソーラー式簡易赤外線センサー用のソーラーパネル取替作業中、脚立を降りる際右手小指をバーブドワイヤー(有刺鉄線)に接触し負傷した。	G II
2	【水処理設備シールド中央制御室 集中環境施設プロセス主建屋油分分離装置監視カメラ用モニタ不良の件】 水処理設備シールド中央制御室内の集中環境施設プロセス主建屋油分分離装置監視カメラ用モニタの映像が表示されないことを確認した。	G III
3	【貯槽タンクD-C1水位計指示不良の件】 貯槽タンクD-C1タンク水位計指示のハンチングが発生。現在、タンク連絡弁を開とし、隣接タンク水位計で監視中。今後、原因の特定および対応を実施する。	G III
4	【1F-1~4号機 フランジタンク他水移送業務委託における業務車からの油漏れについて】 構内の資機材移動用として使用する2tトラックを入退域管理棟構外駐車場で停車後、エンジンルームを確認したところ、オイルキャップが外れており、エンジンルーム内で油の飛散および、車両下部に油の滴下を発見した。 漏れた油はエンジンオイルで漏洩範囲約20cm×20cm。	G III